

※ 大島八重子のパフォーマンス ※

9月3日(木)AM 10:30～ イレブンス（紅茶の集い） 2,000円
11月1日(木) AM 10:30～ イレブンス（紅茶の集い） 2,000円
11月3日(木) AM 10:30～ イレブンス（紅茶の集い） 2,000円
11月7日(土) AM10:00～ 大島八重子 一人劇場 in 湊屋
別紙参照 3,000円 食事代含
12月4日(金) AM10:00～ 大島八重子 80代を語る
別紙参照 マリエールガーベナ 10,000円 食事代含

母に近づく

老いし自分を眺め、つくづく母にそっくりの表情になったと思う。
当然なこと思ったがよい。決して不満を言っているのではない。と同時に
そっくりなのは外見だけではなく、心の動き、思考、その処置方法においても
同じ方向にいつている。

これは理屈ではなく自然であり余分なことを考える必要もなく、思いのまま
生きたがよい。母は96才で彼の地へいった。
私も、、、。これだけは一緒にならないであろう。

本日の昼ご飯は、そうめん、茄子とじゃが芋の煮物、ささげひたし、きゅうりの味噌漬。
あれまあ、あの時母と一緒に食べた献立ではないか。

換気

自宅でのついの住み家を決めた大きな理由に、換気性が大きく占める。
空気のだんだ空間を私は好まない。南から北へ風通しをよくした家に住みたい。

従来の日本的な考えが無くなった現代風の新しい住居は、空調での空気循環で
北側に窓のない家が多い。
密閉状態で息がつまる毎日は私向きでない。

天然素材の建物で、たたみに障子、家具調度品は木製が好ましい。
コロナ禍の納まらない理由の大きな部分になっているのかもしれない、現代の環境に
反省の余地があるようにも思うけれど。

蚊取り線香の煙を浴び、せみの声と、南から入る風を受けて昼寝する時こそ
至福の一瞬である。

バグダッドの盗賊

小学校5年生だったと思う。
課外授業として町の映画館で観賞会があった。
その映画は『バグダッドの盗賊』アメリカ映画で
知らないアラビアの不思議な世界に魅せられた。
小学生の頭では登場人物の善人・悪人くらいは判るが
ストーリーの中身については理解できない部分が多々あった。
場面に出てくる多勢集まる市場でパンケーキらしき食べ物に
何かを塗って食べる場面があった。それが何であったのか
食いしん坊の私は気になる。
それが判明しないで今日に至っているけれど
最近古い映画をDVDとして見つけた。
もちろんその場面のその物を映画で確認した。
蜂蜜であった。

判明したことにより、モヤモヤが飛びスッキリした。
映画は様々な未知な世界を私に教えてくれ今日に至っている。
その映画も1940年から1960年くらいの映画に多い。

リンドウ

リンドウは秋に似合う花の代表とも言える。

さまざまなリンドウがあるけれど

高山に咲くリンドウは

特別である。

日本の地に咲く花は

どれも奥が深い。





発行所 『野の花』

ところ 一宮市西島町
2-52-2

☎ 0586-72-3733

FAX 0586-72-1333

発行人 大島八重子



やってみたけれど

我がついの住み処を美しく化粧した。

私はほんの少しの残された人生を心地よく生きてみたい。

自分好みのしつらえで穏やかに呼吸をしたい。そのささやかな準備をした。

暗い雰囲気に進まぬよう明るく、快適にリズムカルな余生であることを望む。

資金も余力も月々減少するけれど、亡くす部分に悔いの無いよう、と同時に

ささやかであるけれど刺激も必要である。

学ぶ意欲を忘れてはいけない。この生きる姿勢こそ安住の地にふさわしく輝くのであるから—。

85歳に達した私の足腰はどうなるであろうことを想いつつ夢見る私である。

トラでございます



私の好き場所と言えば応々にして高い所を選びます。
テーブルの上が好きです。

主人は困った顔をしますけれど、私は気分がいいのです。
主人のベッドに私専用のバスタオルが置いてあります。
ネコの習性として人の指示は解っていても従えないのです。

この性格は自分でも解りません。
叱られて不本意な表情でバスタオルに移動しますけれど、
これも3回に1回くらいです。

お世話になっている主人の命令を素直に従わない私でありますけれど
主人が外出するととても不安になり無意識にその帰りを待つのです。
人間に依存しないで生きていけない私です。
その本心を知る主人は、きびしくこそありますが
どこまでも私を可愛がってくれます。

昔はよかった。

夏は強烈な思い出を多く残す。
特に遊ぶ世界は特別なもの。
海山への自然への思い出、夏あつての食生活、浴衣等うすいものでおしゃれ、
人間同志の出会いと別れ、盆を中心に燃える心の動きに納まった。
当節の夏はそうでなくなってしまった。
高齢のせいでもあろうけど、苦しいだけの夏になってしまった。
青い空に入道雲の風景が少なくなった。熱中症だけを心配して
家の中でこもる世界なんて何がおもしろい。
気温は35℃。これは自然災害である。
食欲、意欲も減退、性格も荒んで意地悪くなる。
楽しかった昔の夏休みがなつかしい。